

令和4年度

第1回水戸市上中妻市民センター運営審議会

日 時 令和4年6月22日(水)  
午後1時30分～  
場 所 上中妻市民センター 集会室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長及び副会長選出

4 会長あいさつ

5 議 題

- (1)令和3年度上中妻市民センター事業並びに利用状況について
- (2)令和4年度上中妻市民センター運営方針及び重点目標について
- (3)令和4年度上中妻市民センター事業計画について
- (4)その他

6 閉 会

上中妻市民センター運営審議会委員（任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日）

（順不同，敬称略）

役 職	氏 名	所属団体等
	立原 文男	上中妻地区住民の会 監事
	白澤 昭	上中妻地区高齢者クラブ連合会 会長
	江橋 信子	上中妻女性防火クラブ
	雪竹 環	子ども会役員経験者
	鯉淵 裕志	上中妻小学校PTA 顧問
	穂積 弘行	上中妻小学校 校長

上中妻市民センター職員（令和4年4月1日現在）

職 名	氏 名
所 長	関 文男
会計年度任用職員	佐川 好美
会計年度任用職員	磯崎 恵
会計年度任用職員	林 沢子

5 議題

(1)令和3年度上中妻市民センター事業並びに利用状況について

ア 市民センター主催による事業

事業名	講座名	講師 (敬称略)	開催日	会場	対象	募集 人数	参加 人数	参加費
青少年教育 講座 (子ども教室)	サマー スクール 絵画教室	木内 茜里	令和3年 8月17日 (火)	上中妻市民 センター	小学全学年	15 名	15 名	無料
女性教養 講座	骨盤 ストレッチ	根本 貴世子	令和3年 10月29日 (金)	上中妻市民 センター	成人女性	15 名	13 名	無料
	お正月の寄植 え教室	下河辺 寿子	令和3年 12月21日 (火)	上中妻市民 センター	成人女性	15 名	12 名	1,800円
家庭教育 講座 (家庭教育強化 事業)	親子ヨガ 講座	十万 久美子	令和3年 12月7日 (火)	上中妻市民 センター	未就学児 とその保 護者	15 組	6 組	無料

イ 地区住民の会・市民センター共催による事業

事業名	開催日	会場	参加人数
上中妻地区お父さんソフトボール大会	令和3年6月27日(日)	大塚池公園野球場	2チーム
西部ブロック球技大会(ソフトボール)	令和3年12月12日(日)	田野市民運動場	上中妻地区 1チーム

ウ 地区高齢者クラブ連合会・市民センター共催による事業

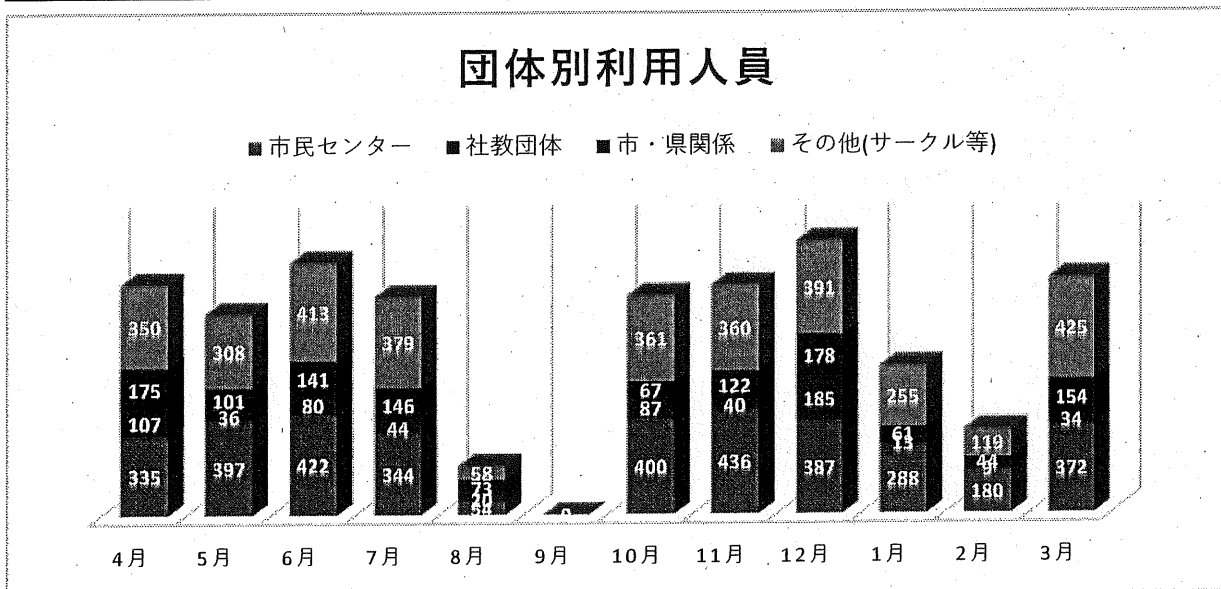
事業名	開催日	会場	参加人数
高齢者スポーツ交流会 グランドゴルフ・ペタンク・輪投げ	令和3年11月25日(木)	上中妻市民運動場	35名

エ その他

事業名	開催日	会場	人数 (未就学児)
子育て広場	毎月第1火曜日 (10:00~11:30)	上中妻市民センター	
	令和3年4月6日(火)		14名
	令和3年6月1日(火)		7名
	令和3年7月6日(火)		8名
	令和3年8月3日(火)		9名
	令和3年9月7日(火)		中止
	令和3年10月5日(火)		7名
	令和3年11月2日(火)		5名
	令和3年12月7日(火)		9名
	令和4年1月4日(火)		5名
	令和4年2月1日(火)		中止
令和4年3月1日(火)	4名		

オ 団体別利用状況

年月	団体	市民センター		社教団体		市・県関係		その他 (サークル等)		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和 3年	4月	33	335	7	107	11	175	38	350	89	967
	5月	39	397	3	36	7	101	38	308	87	842
	6月	44	422	5	80	10	141	44	413	103	1,056
	7月	37	344	4	44	9	146	40	379	90	913
	8月	6	54	2	20	3	73	7	58	18	205
	9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10月	44	400	8	87	5	67	40	361	97	915
	11月	46	436	4	40	8	122	40	360	98	958
	12月	41	387	9	185	10	178	44	391	104	1,141
令和 4年	1月	33	288	1	13	5	61	31	255	70	617
	2月	21	180	1	9	5	44	19	119	46	352
	3月	43	372	3	34	12	154	50	425	108	985
計		387	3,615	47	655	85	1,262	391	3,419	910	8,951

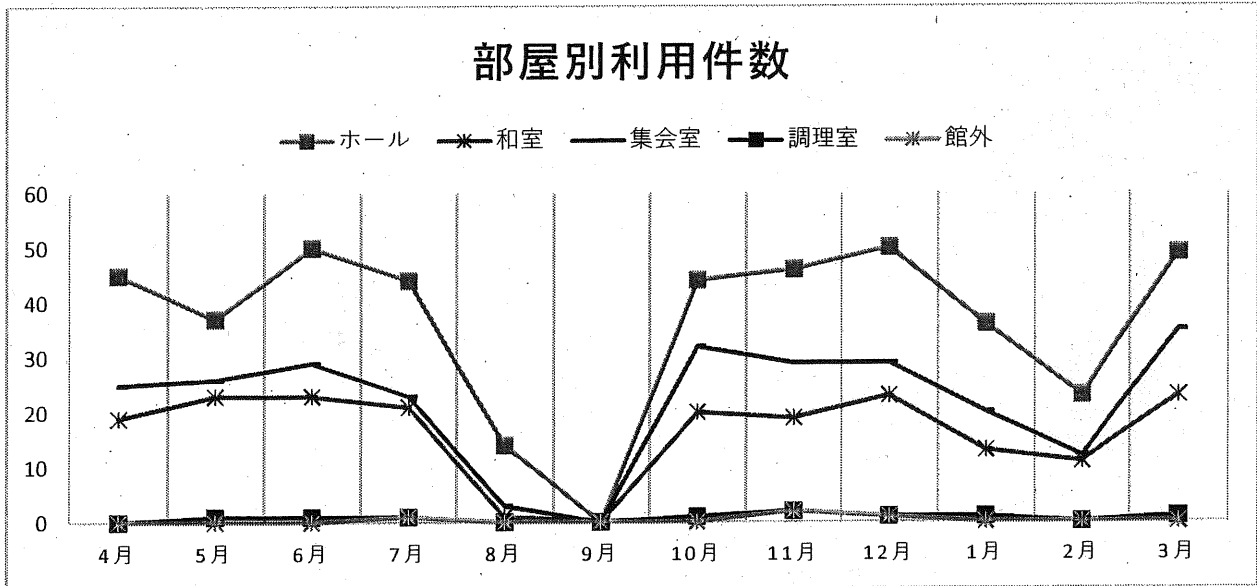


年度	団体	市民センター		社教団体		市・県関係		その他 (サークル等)		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和3年度		387	3,615	47	655	85	1,262	391	3,419	910	8,951
差		34	413	14	211	37	585	89	322	174	1,531
前年比		109.63%	112.90%	142.42%	147.52%	177.08%	186.41%	129.47%	110.40%	123.64%	120.63%
令和2年度		353	3,202	33	444	48	677	302	3,097	736	7,420

※各年度3月末現在

カ 部屋別利用状況

年月	ホール		和室		集会室		調理室		館外		合計		
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	
令和3年	4月	45	617	19	150	25	200	0	0	0	0	89	967
	5月	37	438	23	187	26	205	1	12	0	0	87	842
	6月	50	638	23	179	29	228	1	11	0	0	103	1,056
	7月	44	539	21	159	23	197	1	12	1	6	90	913
	8月	14	175	1	11	3	19	0	0	0	0	18	205
	9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10月	44	496	20	150	32	255	1	14	0	0	97	915
	11月	46	533	19	147	29	219	2	18	2	41	98	958
	12月	50	692	23	212	29	220	1	12	1	5	104	1,141
令和4年	1月	36	373	13	95	20	136	1	13	0	0	70	617
	2月	23	206	11	71	12	75	0	0	0	0	46	352
	3月	49	552	23	179	35	243	1	11	0	0	108	985
計	438	5,259	196	1,540	263	1,997	9	103	4	52	910	8,951	



年度	ホール		和室		集会室		調理室		館外		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和3年度	438	5,259	196	1,540	263	1,997	9	103	4	52	910	8,951
差	90	842	46	340	37	314	1	14	0	21	174	1,531
前年比	125.86%	119.06%	130.67%	128.33%	116.37%	118.66%	112.50%	115.73%	100.00%	167.74%	123.64%	120.63%
令和2年度	348	4,417	150	1,200	226	1,683	8	89	4	31	736	7,420

※各年度3月末現在

## (2)令和4年度水戸市上中妻市民センター運営方針及び重点目標について

### ア 運営方針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、コロナ禍における感染症対策を徹底した上で、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

### イ 重点目標

#### (ア) 地域コミュニティ活動の推進

##### a 地域コミュニティ活動の活性化

- (a) 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- (b) 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- (c) 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。
- (d) 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

##### b 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

##### c 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

## (イ) 生涯学習活動の推進

### a 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

#### (a) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

#### (b) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

#### (c) 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

### b 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

#### (a) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

#### (b) 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果



を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

(c) 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

(d) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

c 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

(a) 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

(b) 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3)令和4年度上中妻市民センター事業計画について

項目 年月		地域コミュニティ活動の 支援	生涯学習の推進		子育て 広場  (毎月第1 火曜日)
		住民の会・地区高齢者クラ ブ連合会・各種団体との共 催事業及び支援	一般教養講座	定期講座	
令和 4年	4月				5日 (火)
	5月	・各種団体定期総会 ・西部地区球技大会			—
	6月				7日 (火)
	7月	・お父さんソフトボール大会 ・花壇コンクール ・寿大学①	・女性教養講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクレレクラブ</li> <li>・パソコンBクラブ</li> <li>・相撲甚句クラブ</li> <li>・歌謡クラブ</li> <li>・箏曲(さくら)クラブ</li> <li>・囲碁クラブ</li> <li>・ダンベル・ストレッチ クラブ</li> <li>・陶芸クラブ</li> <li>・太極拳クラブ</li> <li>・ピラティスクラブ</li> <li>・フラワーアレンジ メントクラブ</li> <li>・コーラスクラブ</li> <li>・菓子づくりクラブ</li> <li>・俳句クラブ</li> <li>・ヨーガクラブ</li> <li>・大塚卓友会クラブ</li> <li>・卓球クラブ</li> <li>・上中妻卓球クラブ</li> <li>・革細工クラブ</li> <li>・郷土史研究クラブ</li> <li>・スポーツ吹矢クラブ</li> </ul>	5日 (火)
	8月	・寿大学②	・青少年教育講座 (子ども教室)		2日 (火)
	9月	・福寿のつどい	・高齢者教育講座		6日 (火)
	10月	・市民運動会 ・高齢者秋季研修			4日 (火)
	11月	・ふれあい祭り ・地域環境実態調査 ・高齢者スポーツ交流会	・高齢者教育講座 ・女性教養講座		1日 (火)
	12月	・歩く会 ・バドミントン大会 ・西部ブロック球技大会	・成人教養講座(移動学習)		※パソコンCは、令和4年 度よりサークルに移行
令和 5年	1月		・成人教養講座		—
	2月	・地区防災訓練	・家庭教育講座 (家庭教育講演会) (家庭教育強化事業)		7日 (火)
	3月		・成人教養講座		7日 (火)